

【選挙方式と選挙システムの不備と対策について説明します。】

選挙方式や選挙システムの問題点と対策について語ります。本当の民主主義を取り戻す必要があります。本当に民意の反映する選挙方式や選挙システムを構築しないと、大多数の国民は食い物にされるだけになります。国民総奴隷化社会となってしまう、根本的要因でもあります。もっと自分の住んでいる国に興味と関心を持ち、国民全体として考えてください。

<組織票対策について>

○組織票対策その1。

投票率が77%以下の場合は延長ややり直しにすることです。それまでは、命に関わるもの以外の行政の運行を停止しても良いでしょう。

よく「誰がなっても変わらない。」といった意見をよく耳にしますが、まったくの間違いです。

この国には組織票というものが大きな力を持っています。

例えば、分かり易いところで言うと、政権与党は「投票率が低いので18歳選挙にする」と言っていました。しかし、選挙する日は必ずもっとも暑い時期かもっとも寒い時期を狙います。なぜでしょうか。本心は投票率は低い方が良くからです。暑く寒く投票が面倒な時期に選挙をすると選挙率が落ちます。一般の真っ当な考え方の票は減るからです。一方で組織票は毎回確実に雨だろうが嵐だろうが必ず入ります。基本的なギミックについてよく考えてみてください。だから一般国民は負担ばかりで、関係ないところの利権ばかりに嘘臭い綺麗ごとの詭弁で税金のばら撒きばかり行われることになります。

※ちなみに若者の投票率が低いのは周知のことです。何がやりたいかという単に組織票を増やしたかっただけです。若者たちは勉強や受験もあり、本当に国の運営に興味を持ち勉強し理解すると思いますか。投票率も最下位となり、殆ど効果はないでしょう。逆に組織票だけが幅を利かせることになります。政権与党のやることは、本質を考えると真逆のことが多いので気を付けて観察してみてください。

まず本気で投票率を上げたいのであれば、選挙は春や秋の涼しい時期にやってください。

○組織票対策その2.「死に票対策」。

投票用紙に候補者の順位を書いて貰うだけです。5人立候補していたら、5つの欄に名前を書いて貰うことになります。一番上はもちろん自分がなって欲しい候補者の名前です。それ以下はもし自分の薦め

る候補者が落ちた場合に次になって欲しい人を順番に書いていきます。

(パターン1、明らかに振れた場合。)

第一回目の一位欄の集計順位が「A3000 B2500 C400 D250 E150」となる。

この場合は三位以下のCDEを合計しても「Aの3000とBの2500(二人残す必要がある)」のどちらも超えることがないので、1位と2位を残して、3位以下のCDEの票を死に票として一気に処理する。

CDEの票で、AかBが時点トップのものを、AとBそれぞれに振り分ける。

その結果が「A3100 B3200」となって、死に票を計算すると逆転することもあります。

Aが組織票で、Bが一般の民意が集る人間でも、Aの組織票の人間がダミーとして、ある程度有名人のCDEを擁立しているとよく起こる現象です。Aの組織票はブレることなく必ず3000入ります。一方の一般人はCDEに流れる可能性があります。これを利用した選挙対策があることを知ってください。

(パターン2、拮抗した場合。)

第一回目の一位欄の集計順位が「A1100 B1000 C 900 D800 E700」となる。

ここで最後のEは落選確定なので、Eの票を死に票として検分する。

Eの票の第二位の欄をABCDに配分する。

その結果「A1250 B1150 C1100 D1000」となると、次はDが落選確定する。

そこでDの票を配分。Dの票の中でABCの一番順位が高いものをそれぞれに加算する。

その結果「A1550 B1650 C1300」となると、次はCが落選確定となる。

そこでCの票を配分。Cの票の中でAかBのどちらか上の表をAとBそれぞれに加算する。

と最後に二人残るまで同じ手順で行うことで、実質得票率が一番多い2人のどちらかが選ばれることになります。死に票は絶対に生じません。

この場合は最終結果として、「A1850 B2650」となるかもしれません。

最初の集計「A1100 B1000 C 900 D800 E700」で終わっていた場合、A1100やB1000より遥かに大きい票(CDE合計で1900票)が反映されないことになり民意とはいえなくなってしまう。

<選挙システムについて>

○鉛筆書き問題。

現在の投票には鉛筆書きがほぼ強制されている状態です。そして、現在の投票用紙を確認してもらえれば分かりますが、表面はプラスチックでラミネートされているものです。公式には折りたたんだものを素早く開くためとなっています。しかし、これだと特殊な機械を使うと一瞬で消えます。消えた票は無効票として扱われるでしょう。なぜ鉛筆書きが強制なのかよく考えてみましょう。対策として投票用紙を数える機械や、書いてある内容を素早く検出して振り返る機械をスケルトン使用にすること。投票者の方はどうかそれぞれが用意したボールペンを持参してください。

○投票箱問題。

現在の投票箱は組み立て式になっています。持ち運びには便利ですが、逆に不正行為対策としてはまったくといって考慮されていません。付けている鍵もチープな南京錠のみで、誰が鍵を管理しているのかも適当で、合鍵も作り放題です。これだと、深夜、休憩中、持ち運び中に投票用紙の抜き取りが容易にできてしまいます。18歳投票のもう一つの目的は、大量の投票箱を様々な場所に分散できることです。実際に管理の薄い学校施設などへと増えています。対策として、投票箱の蓋周囲をシーリング処理して置く方法です。蓋の継ぎ目に帯状の金属を圧着し、開票時に缶詰の蓋のように部分が剥がれるようにし蓋を開けます。シーリングは一度剥がすと、特殊な工場のような場所でないと再びくっ付けることはできません。更に、造幣局に作らせたフォログラムシールの表面に各候補者がサインをして蓋の境めに張ります。これも剥がすとシールの模様が部分で剥がれて、再びくっ付けることもできない仕様です。開票時に各候補者が破れていないかチェックします。もちろん、投票箱にもシリアル番号を入れます。日本の選挙は物凄く費用が掛かっています。それだけ掛けるのであれば、投票箱のフォログラムシールくらいは行ってください。

(追加。)

最近では、不在者投票などで外部で長期間の保管がされることも多いと思います。そこで、シーリングされた投票箱の更なる改良を加えます。投票用紙の投入口に、投票用紙が二つ折りにして入る程度の隙間を開けて2つのローラーを設置します。箱の横にちょうどビルトインさせてはめ込んである取っ手を引き出し回転させると投票用紙が中に吸い込まれる構造です。逆回転防止機能付きのローラーです。これで、投票口からの抜き出しは不可能となります。

○投票用紙問題。

投票用紙も、現在は普通の印刷所で簡単に印刷できるものです。空の用紙が横流しされ、適当な人間が複数枚の記名をし、上記のような深夜、休憩中、持ち運び中に投入しても誰も分かりません。この用紙も造幣局に印刷させ、特殊な紙を使用し、フォログラムや精密な印刷を施します。更に、シリアルナンバーも印刷し、それを元に厳格に枚数チェックを行います。開票時に機械で自動的にシリアルナンバーと投票結果(投票者か無効票か)を自動的に記録されデータベースに入ります。ネットでシリアルナンバーを入れると、その結果内容が表示されます。また、自分が何日に投票したかどうかもチェックできます。投票していないのに投票していることになる大変なことになります。投票用紙は、選挙ごとに毎回、用紙のバックグラウンドの模様を変更する。シリアルナンバーの書体や枠模様を変更する。(追加。)

投票用紙には、それぞれのシリアルナンバーがQRコード(二次元バーコード)で入っており、携帯やスマホでカメラで撮影して入力できるので、簡単に間違いもありません。QRコードの下には、シリアルナンバーも書いてあり、携帯、スマホに表示された数字記号と確認します。

○集計ソフト問題。

集計ソフトに不合理なメソッドがあると投票結果を改ざんできる可能性があります。投票関連のソフトウェアはオープンソフトウェアにするべきです。仕様するノートPCは汎用的なものを利用し、ソフトウェアはDVDから起動するタイプにします。表面にフォログラムなど入った検閲済みのプログラムDVDを配布して仕様します。HDDは最初の起動でフォーマットして使用します。DVDは誰でもチェックサムを掛けることができます。選挙で仕様する機械もソフトウェアもオープンなものにし、様々な関係者や専門家が誰でも後で検証できるようにします。通信で送信した内容は、中央のサーバーに記録され、それもHPで詳しく表示できるので、各選挙区から送られたデータが全て正しいかも複数の人間がチェックします。

○票の集計数問題。

膨大な数の票が消えたり、選挙区が発表した開票数と全国発表の投票数が大きく違う結果になる事例が多々露見しているようです。地方と中央の数値の違いは、上記にもあったように、お互いの数値を後から必ずチェックするようにしてください。また、各選挙区からのデータ送信は複数の場所のサーバーと個別に公開鍵暗号を取り決めて多重化して送信し、全てのサーバーで整合性チェックをしてください。膨大な数の票が消える現象は他にも考えられますが、開票会場の問題もあると思います。ボランティア

を多く使って経費削減が大事ですが、セキュリティ対策も厳重にしてください。私物はロッカーなどを用意してください。また、開票場では、首から足首まですっぽり被れる真っ白な着衣を用意してください。まったくポケットの無いもので、後ろでマジックテープで留めてください。手首もマジックテープできっちり留めるようにしてください。マジックテープだと、剥がすときにかなり音がして気付きやすいです。また、集計会場は二階に客席のある場所を使い、必ず有権者に公開してください。最近で言えば、複数のカメラでネット配信をしてください。複眼カメラが良いです。

○投票関連機器問題。

投票機器が殆ど独占状態だと聞きます。これも不正を行える土台と成り易いです。IBMPCが規格を公開して、どこの会社でも同じ互換性で作られるようになったのと同じで、基本設計を策定し、それに沿ってどこの会社でも同じ機能の機器類を製造できるようにするべきです。投票に使う機器は見た目は問題にならないので、機械類以外の部分はスケルトンの透明仕様にするべきだと考えます。内部で何が行われているのか完全にブラックボックスだと危険です。

○投票率問題。

国民の関心が高まっているハズの選挙でも、投票率がガクンと落ちていることがあります。機器関連の問題で鉛筆程度の消去は簡単だと述べました。その他に、高速仕訳機械を使えば目的の党以外の票を別の保存エリアに飛ばすことも可能です。機器自体がブラックボックスなので不透明なのが現状です。最初にカウントすると言いますが、その機器もほぼ少数メーカー独占状態のためブラックボックスです。作業に当たるスタッフも独占しているようなので、誤魔化すことも可能でしょう。

そこで、第三者機関などによる、投票場所での出入り口の人数カウントが必要だと考えられます。その数と各投票場所の実際の投票数リスト(公開してなければ、するべきです)を比較すれば明らかに違いが出た場合には分かると思います。

○書き損じ問題。

投票用紙を書いていて明らかに名前が読み取れないほどの書き損じが起こった場合は、新しい投票用紙を貰い、書き損じの用紙はバーコードでナンバーを読み取り書き損じ登録する。その後に、書き損じの用紙はその場で、両人立ち合いのもとで、シュレッダーに掛ける。

不随して、投票用紙の書き方について。名前の前に関係ないことを書くと無効とし、名前の後に書いて

あることは、すでに名前は読み取れているので、それ以降のものは考慮されないと有効にするべきだと考えます。基本的に名前が認識できれば、問題ないと思います。二候補以上の名前が認識された場合は無効となります。

＜選挙運動について＞

この国では、一回の選挙に莫大な費用が掛かるようですが、どこに掛かるのか甚だ疑問です。これでは、大事な案件に対して気軽に国民投票することすら難しいです。もっと費用を抑える工夫をするべきです。更に、全体の経費を抑えて、貧困層（庶民の心が一番理解できる）も立候補し易くするべきだと考えます。

○携帯スマホによるパンフレット配布。

パンフレットなどの印刷代がかなり大きくなる傾向にあるようです。選挙活動で通行人にパンフレットを渡す行為を電子的に行いましょう。画像ファイルでもPDFでも良いです。これは、携帯会社に登録してあるIDからのデータは自動的に送れるようにします。スマホなどの画面にアイコンが表示され一括でBOXに入っていますが、見たくない人はボタン一つで消去できます。これで、印刷代がかなり削れます。

○カラー E インク式ポスター掲示板。

ポスターは指定された場所のみに限定します。人通りの多い場所になるでしょう。その変わり E インク式のポスターは電子的に読み込むだけで再利用が可能です。普段は路上広告や公共告知に使用できるでしょう。E インクの場合はローディングするときのみ電力を使い、表示させておいただけなら電力を一切使用しません。低消費電力です。夜は別の LED 型ライトを使用しますが、これはペーパー式のポスターと同じです。これからは紙媒体よりはスマホ、タブレットなどネットが活かされる時代です。ポスター自体の数を削減するべきです。

○スマホ、タブレット、ノート PC 向けネット討論システム。

これからは個別の街頭演説よりは、ネットを活用した討論の方を優先させるべきだと考えます。この国では只でさえ議論して考えることをしない国民性です。それでは本当の意味での改革はできません。表面的なことばかりに惑わされることになります。特にスマホ、タブレット向けの討論を候補者に義務付けるべきだと考えます。更にその VTR はいつでも再生できるようにします。リアルタイムのオープンな討論で

すので、例えば都知事戦であれば、東京都民が優先してアクセスし、討論に参加できるようにする必要があります。基本的にだれでも書き込めるタイムラインを表示し、参加者の多くがベストクエスチョンと指定したものを候補者に直接質問するなどします。最終的な判断は、討論の流れや質問集中も考慮して運営が選ぶことになりますが、全体タイムラインと質問が同列で表示されるので意図的な選択があればすぐに分かるでしょう。

各候補者のマニフェストのデータベースを分かりやすく作る。比較型表示の方が分かり易い。これも討論ごとなどに時々刻々と修正されていく。閲覧者のコメントも残る形が良いが、閲覧数や最新日時、注目ボタン数などでいつでも表示順を変えられるようにする。不快ボタン数が多いものは、隠し表示を出す。注目ボタンと不快ボタンは登録者で「いいね」ランキングが高いものを反映するなど細かな設定もできる。動画のタイムスタンプなどもドラッグアンドドロップで投稿文に挿入できるようにする。

ここに書いてあるものはすべて再利用してもらっても構いません。

拡散を希望します。

広島県福山市 HK 苗字はかなり特殊で「平」が入ります。全国で数百人程度で聞いたこともないような苗字です。名前は「こうじ」。2016年5月現在で43歳です。

最後にお願ひがあります。新聞、雑誌、ニュース映像、防犯映像、ネットニュース(HP)など、既存メディアの発表を出来る限り保存してください。報道などの番組を可能な限り録画して保存してください。DVDなどに映像を保管してください。UPして頂くとそれが証拠になることがあります。防犯映像などは偽造捏造の証拠となることが多いです。都合の悪いニュース映像などは消されて二度と使われない傾向にあります。またネットニュースなども早めに消去されている状況です。意識して見ないと気付かないことも多いですが明らかにオカシナ状況の映像が映っていることがあります。傾向としてメディアは仄めかしで一瞬使用したあと、都合の悪いものは二度と放送に使いません。

また、一般の方の現場周辺の映像がとても参考になることがあります。可能な限り撮影して保存してください。メディアが映像を募集していることがありますが、募集したとしても自分でも保存してください。メディアが使用しない場合は都合の悪いことが写っていることがありますので、ネットサイトに投稿してください。尚、一般の方が近くに写っている場合は、ボカシやモザイクを入れた方が良いと思います。念のために元画像は手元に記録保存はしておいた方が良いでしょう。

放送法の第一条に「放送を公共の福祉に適合するように規律し、その健全な発達を図ることを目的とする」とある。つまりニュース報道といったものはコンテンツではなく、これらは放送法にも定められている公共福祉の義務です。その代わり、彼らは電波帯域の使用独占権を与えられています。ニュース報道は放送の義務ですので、権利主張はできません。もし彼らが事件事故を作っているのであればです。

※ お願ひがあります。古いネット記事はすぐに消されて消失する傾向にあります。極力ネットニュースなどを保存してください。また、ソースはリンクではなく、ページそのものを保存するか、画像取り込みを行って保存してください。そのためネットに散乱している画像などを利用させていただくことがあります。日本の切実な問題であり、真実を追究していくことが一番大事なことだと思います。フリー活動で問題提起や注意喚起を行っています。どうかご了承願ひます。あと古い新聞記事なども検証に役に立つことがあります。

ホームページ(victim084)

<http://nekoneko2121.wix.com/victim084>

集団ストーカー被害者@広島県福山市

<http://victim084.blog.fc2.com/>

被害者@広島 集約暫定掲示板

<http://6261.teacup.com/revenge/bbs>

FaceBook 平こうじ

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100011566238779>

twitter :

hk1303

hk1305hk

hk1312hk

集団ストーカー被害者@広島県福山市

<http://blog.livedoor.jp/victim084/>

「集団ストーカー仄めかし」に関わる事件事故について、暫定記録板

<http://jbbs.shitaraba.net/news/6220/>

集団ストーカー被害者相互情報掲示板(HK版)

<http://6237.teacup.com/syusuto/bbs>

FC2BBS

<http://victim084.bbs.fc2.com/>